

- 一宮市には森林がないことから、公共施設における木造化・木質化や、木製備品の調達等による木材利用の促進、木育の機会の創出といった普及啓発に取り組むこととしている。
- 令和2年度においては、以下の取組により、公共施設の内装木質化等を行った。
 - ・ 国営木曽三川公園にあり、市のランドマークである「ツインアーチ138」の展望階（市の所有施設）の内装木質化を行った。
 - ・ 展望階にあるレストラン等に国産木材を利用した机や椅子を導入した。

□ 事業内容

1 公共施設の内装木質化

- ・ 国産材を活用し、ツインアーチ138展望階の内装木質化を実施。

【事業費】22,605千円（うち譲与税12,981千円）

【実績】木材使用量3.46m³

2 公共施設の机や椅子の更新

- ・ ツインアーチ138展望階の内装木質化によるリニューアルに合わせ、国産材を活用した机・椅子を更新。

【事業費】1,060千円（全額譲与税）

【実績】木材使用量0.67m³

□ 事業スキーム

1 公共施設の内装木質化



2 公共施設の机や椅子の更新



□ 工夫・留意した点

- ・ 市民が利用する市のランドマークである公共施設の内装に、木の温かみや香りが感じられる居心地のよい空間を演出することで来場者を増やし、木の良さや森林整備の意義を効果的にPRし事業の効果が高まるよう配慮した。

◇ 基礎データ

①令和2年度譲与額	30,550千円
②私有林人工林面積（※1）	0ha
③林野率（※2）	0%
④人口（※3）	380,868人
⑤林業就業者数（※3）	0人

※1：「森林資源現況調査（林野庁、H29.3.31現在）」より、

※2：「2015農林業センサス」より、※3：「H27年国勢調査」より



（1 公共施設の内装木質化）



（2 机や椅子の更新）